

平成 20 年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	5-15-1-3
事務事業名 ふくしま県市町村共同電子システム参画事業				部等名	総務部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	施設管理課
	一般	01-020107004	細々目名	係等名	情報管理係
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり		
	施策	15	地域情報化の推進		
	基本事業名	1	その他		

事業概要 実施内容	福島県と市町村とが、申請・届出等行政のオンライン化に必要なシステムであるふくしま県市町村共同電子申請システムを共同で運営する。				
根拠法令等	公共手続きオンライン化法 本宮市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例		事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業	
			評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価	

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 ( 15 年度 ~ 21 年度 )			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役員費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	1201535 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	1,201,535 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象 (誰を、何を)		市民、事業者	
手段 (事業の具体的な内容、手順等)		インターネットを通じて申請・届出を受付する。	
意図 (対象を、どのような状態にしたいのか)		申請・届出の手続きの利便性を上げる。	
		活動指標名・式 (アウトプット) 活動の大きさを表す指標	
		指標 (1) 名称	申請・届出できる手続き数
		指標 (2) 名称	式
		成果指標名・式 (アウトカム) 意図の達成度を表す指標	
		指標 (1) 名称	申請・届出件数
		指標 (2) 名称	式
事務事業を実施 (意図を実現) することで、施策にどのように貢献していますか			
申請・届出をインターネットを通じて行うことによって、地域情報化を推進できる。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	21 年度 (最終目標)
指標	活動指標 (1)	手続			8	10	10
	活動指標 (2)						
	成果指標 (1)	件			0	5	10
	成果指標 (2)						
投入量	事業費	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			1,202	1,297
	事業費計 (A)	千円			1,202	1,297	1,297
	職員数	人			0.1	0.1	0.1
	人件費	人件費平均額 (年)	千円			8,373	8,373
人件費計 (B)		千円			837	837	837
総事業費 (A+B)		千円			2,039	2,134	2,134

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?
市町村の142手続についてシステム化した。関係各課の理解が得られず、本市は8手続の運用となった。現在は、高い効果の見込める手続を選定し利用促進する方向性となっている。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?
国税の電子申告に比べ、電子申請に対する市民の関心が薄い。電子申請システムが使いがづらい。

2. 事務事業の評価 (Check)

[ 目的妥当性評価 ]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
本事業の遂行で、電子自治体を推進できる。	住民等の満足度の向上や簡素で効率的な行政運営の実現を達成する。	市役所を利用する市民、企業であるため、対象・意図は妥当である。
[ 有効性評価 ]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
利用を促進するための余地がある。	現在まで利用実績はないが、いつでもどこからでも、申請が可能となり市民サービスの質的向上が図られる。	類似事業はない。
[ 効率性評価 ]		[ 公平性評価 ]
事業費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
平成22年1月より次期システムに切替えることで、経費削減となる。	係員数も決まっているなかで事業を行っているため削減余地なし	住民等の満足度の向上や簡素で効率的な行政運営実現のため受益者は特定しない。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	現在までのところ利用実績がない。																					
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
オンライン利用促進対象手続きの促進 気軽にオンライン申請できる機会を増やす。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						
利用促進のため、具体的な取組みと利用の目標値を設定する。 簡易申請システムを導入する。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						